

科目	単位	時間	履修学年	講師名
在宅看護演習	1	30	2	専任教員(公益社団法人 地域医療振興協会に委託)
ねらい	在宅で療養している対象の看護を 事例を通して学ぶ。			
回数	授業内容	授業方法		
1回目	1. 在宅で人工呼吸療法をする筋委縮性側索硬化症患者の看護・事例紹介、事例を分析するための必要な情報収集	講義 個人ワーク		
2・3回目	2. 訪問看護記録1・2に沿って情報分析	個人ワーク		
4・5回目	3. 訪問看護記録3・4に沿って事例分析	個人ワーク		
6回目	4. 問題点・看護目標・看護計画について	個人ワーク		
7・8回目	5. 援助内容の計画立案	講義・ グループワーク		
9・10回目	6. 演習計画、演習練習	グループワーク		
11・12回目	7. 演習発表・演習発表	グループ発表		
13・14回目	8. 施設でのレクリエーション・計画用紙について	講義・		
15回目	9. レクリエーションの計画・発表準備	グループワーク		
(45分)	10. レクリエーション発表	グループ発表		
16回目	11. まとめ	講義		
(45分)	終講試験	試験		
教科書	系統看護学講座 統合分野 在宅看護論 (医学書院) ナーシンググラフィカ 在宅看護論②在宅療養を支える技術 (メディカ出版)			
評価方法	筆記試験 1時間 (45分) : 50点 課題提出 50点			
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>筋委縮性側索硬化症患者の事例を通して、訪問看護記録に沿って展開します。対象の疾患や症状だけではなく、療養者の療養環境や生活背景、家族の介護状況、社会資源などから対象が望む在宅療養を継続していけるよう対象を捉えることが必要です。演習では事例から抽出した看護問題・看護計画を訪問看護の一場面を想定しながらロールプレイングで発表します。</li> <li>第11～14回目は、介護老人福祉施設実習にむけてレクリエーションの計画をグループで立案し、発表します。</li> <li>事前学習、テキスト、授業資料など必要な資料は毎回持参して下さい。</li> <li>課題提出については期限を守り提出してください。</li> </ul>			